

器具器械（2）医療用照明器
一般医療機器 額帯灯 11963000
GEISTER ヘッドライトシステム

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

- ①ヘッドライト
- ②ヘッドバンド
- ③ファイバオプティックケーブル
- ④ライトソース用アダプタ

ヘッドライト



ライトソース用アダプタ



（使用するライトソースに対応する品種が存在する）

2. 原理

ライトソースからの光をケーブル内の光ファイバ管束を介して供給することにより照明器として作動する。

3. 原材料

光ファイバ素線・シリコンチューブ・ステンレス鋼、ナイロン 等

【使用目的又は効果】**

ライトソースからケーブルを介して伝達された光を、ヘッドバンドに取り付けたライトから術野を照射することにより、術者が最良な処置を行なえるようにする。

【使用方法等】**

詳細は付属の取扱説明書を参照すること。

1. 滅菌

- ・本品は未滅菌製品であるので、使用前に滅菌を行うこと。
- ・使用後に洗浄・滅菌することで再使用可能である。
- ・使用時の滅菌方法例
下記の条件又は各医療機関等で検証され確立された滅菌条件により滅菌を行う。
高圧蒸気滅菌法 121℃で 20 分

2. 使用方法

- 1)ファイバオプティックケーブル（ライト付）をライトソース（汎用光源等）に接続する。
- 2)ヘッドバンドにケーブル（ライト付）を取り付ける。
- 3)頭にヘッドバンドを取り付け、ヘッドライトから術野を照射する。

【使用上の注意】**

- 1)ファイバオプティックケーブルが鋭利なものに接触しないように十分に注意すること。
- 2)ファイバオプティックケーブルを極度にねじったり、引っ張ったりしないこと（グラスファイバーの破損の原因となり、光伝送の効率が低下する）。
- 3)使用前にキズ、割れ、さび、接合不良等の不具合がないか、外観検査を実施すること。

【保守・点検に係わる事項】

- 1)ファイバオプティックケーブルの滅菌については、付属の取扱説明書を参照すること。
- 2)ファイバオプティックケーブルと他の鋭利な医療機器と一緒に滅菌しないこと。
- 3)ファイバオプティックケーブルは、ぬるま湯あるいは石鹼水をつけた柔らかいブラシで十分に洗浄すること。油性でない洗剤あるいは刺激性の弱い石鹼を使用すること（合成洗剤あるいは油をベースとした石鹼を使用するとケーブルにこれらが吸収され、ケーブルが溶ける可能性がある）。
- 4)洗浄後、お湯で十分にすすぎ、蒸留水で十分に洗い流した後に、滅菌すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：株式会社ユニメディック

住 所：大阪市北区西天満 3-6-28 オクタス西天満ビル
2 階

連 絡 先：06-6316-7330

外国製造業者：Geister Medizintechnik GmbH

国 名：ドイツ

取扱説明書を必ずご参照ください。